

令和6年度 印西市民アカデミーだより 第3号

講座4：印西近現代史について学ぶ

6月15日（土）、印西市文化ホールで『印西市史通史編4近現代』刊行記念として『印西市史編さん講演会』が開催され、市民アカデミーからも学長（市長）、副学長（教育長）をはじめ、25名の学生が講演会に参加してきました。

市史編さん事業は平成25年に始まり、すでに2冊の資料編が発刊されており、それらには明治初年から平成22年の新印西市誕生までの、その時々状況や動きについて後世に伝えるべき資料がまとめられています。今回の通史編はそれら2冊を読み解き、現在の市に至るまでの社会環境の変化や生活の向上などを、140年あまりにわたり総合的にたどり、わかりやすく編さんされたものです。当日は、編さん委員の方々に、今回刊行された『印西市史通史編4近現代』に即した形で、往時の市域の様子をわかりやすく解説していただきました。

講演会の演題は下記のとおりです。

- (1)「市域の自由民権運動・手賀沼の干拓と治水」
- (2)「日記史料から見る流行性感冒（スペイン風邪）大流行への恐怖」
- (3)「まちの発展1954－2010（印西町の誕生から新印西市へ）」



講座5：社会を明るくする運動

6月29日（土）、印西市文化ホールにて「令和6年度社会を明るくする運動・青少年健全育成大会」が開催され、23名の市民アカデミー生が参加してきました。

社会を明るくする運動は、犯罪のない明るい社会をみんなで目指す運動です。犯罪や非行に関わった人が再び過ちを犯さないためには、その人自身が自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直りのために努力することが必要です。しかし、それだけでなく、立ち直ろうと努力する人を受け入れ、見守ることもまた、犯罪や非行のない明るい地域社会につながると考えることができます。

大会では、市内小中学生が日常の家庭生活・学校生活の中で体験したことを通して「犯罪・非行のない地域社会づくり」についてまとめた作文の朗読、薬物やアルコール依存から社会復帰を目指す千葉ダルクの講話・演舞、内野小学校合唱団の演奏、木刈中学校吹奏楽部の演奏発表が行われました。家庭、学校、地域が一体となって「安全で明るい社会をみんなで築いていこう」という強い思いと優しい雰囲気包まれた大会となりました。

